

放物線と直線

y が x の2乗に比例する関数と1次関数のグラフ

y が x の2乗に比例する関数のグラフ(放物線)と1次関数のグラフ(直線)

-交点の (x,y) は y が x の2乗に比例する関数と1次関数の両方で成り立つ

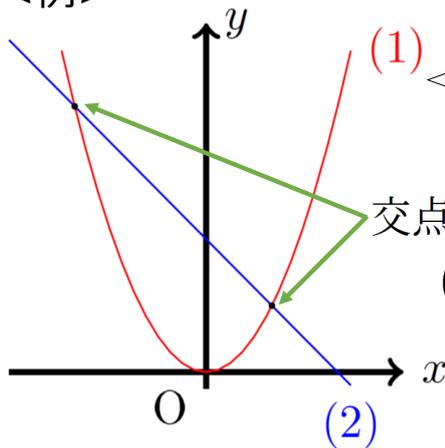
-交点は最大で2つ存在

-交点の (x,y) は
連立方程式で求められる

$$y = ax^2$$

$$y = ax + b$$

<例>



(1) $y = x^2$
(2) $y = -x + 2$

交点の座標は……

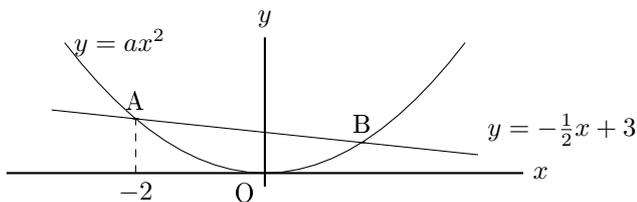
$$\begin{cases} y = x^2 \\ y = -x + 2 \end{cases}$$

交点の座標 $(1, 1)(-2, 4)$ は
(1)(2) の両方で成り立つ

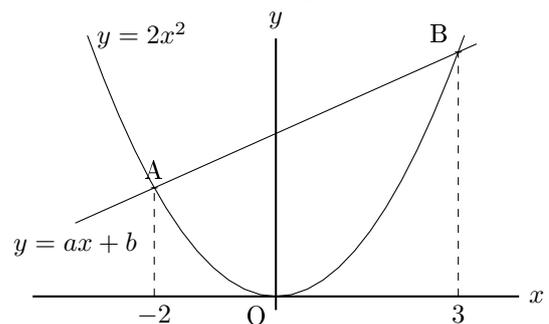
y を消去
→ x の2次方程式
→交点の x 座標(最大2つ)
→ x に対応する y を求める

<確認問題>

(1) 関数 $y = ax^2$ のグラフが、
関数 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ のグラフと
2点A、Bで交わっている。
交点Aの x 座標 -2 であるとき、
 a の値を求めよ。



(2) 関数 $y = ax + b$ のグラフが、
関数 $y = 2x^2$ のグラフと
2点A、Bで交わっている。
交点Aの x 座標 -2 、
交点Bの x 座標 3 であるとき、
 a と b の値を求めよ。



放物線と直線

y が x の2乗に比例する関数と1次関数のグラフ

y が x の2乗に比例する関数のグラフ(放物線)と1次関数のグラフ(直線)

-交点の (x,y) は y が x の2乗に比例する関数と1次関数の両方で成り立つ

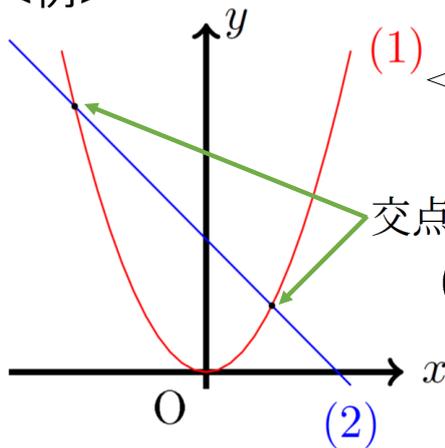
-交点は最大で2つ存在

-交点の (x,y) は
連立方程式で求められる

$$y = ax^2$$

$$y = ax + b$$

<例>



(1) $y = x^2$
(2) $y = -x + 2$

交点の座標は……

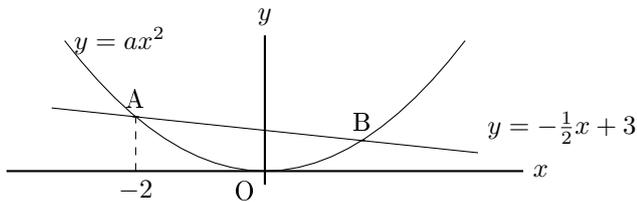
$$\begin{cases} y = x^2 \\ y = -x + 2 \end{cases}$$

交点の座標 $(1, 1)(-2, 4)$ は
(1)(2) の両方で成り立つ

y を消去
→ x の2次方程式
→交点の x 座標(最大2つ)
→ x に対応する y を求める

<確認問題>

(1) 関数 $y = ax^2$ のグラフが、
関数 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ のグラフと
2点 A、B で交わっている。
交点 A の x 座標 -2 であるとき、
 a の値を求めよ。



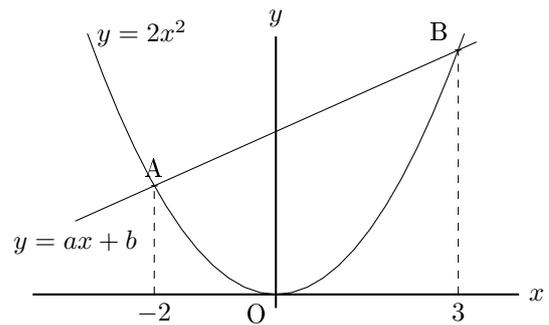
点 A は関数 $y = -\frac{1}{2}x + 3$ のグラフ上の点なので、
 $y = -\frac{1}{2} \times (-2) + 3 = 4$
点 A の座標は $(-2, 4)$
点 A は関数 $y = ax^2$ のグラフ上の点より、

$$4 = a \times (-2)^2$$

$$a = 1$$

$$a = 1$$

(2) 関数 $y = ax + b$ のグラフが、
関数 $y = 2x^2$ のグラフと
2点 A、B で交わっている。
交点 A の x 座標 -2 、
交点 B の x 座標 3 であるとき、
 a と b の値を求めよ。



点 A は関数 $y = 2x^2$ のグラフ上の点なので、
 $y = 2 \times (-2)^2 = 8$ より、点 A の座標は $(-2, 8)$
点 B は関数 $y = 2x^2$ のグラフ上の点なので、
 $y = 2 \times 3^2 = 18$ より、点 B の座標は $(3, 18)$
点 A、B は関数 $y = ax + b$ のグラフ上の点より、
傾きは、 $a = \frac{18-8}{3-(-2)} = 2$
 $x = 3$ のとき $y = 18$ なので

$$18 = 2 \times 3 + b$$

$$b = 12$$

$$a = 2, b = 12$$